

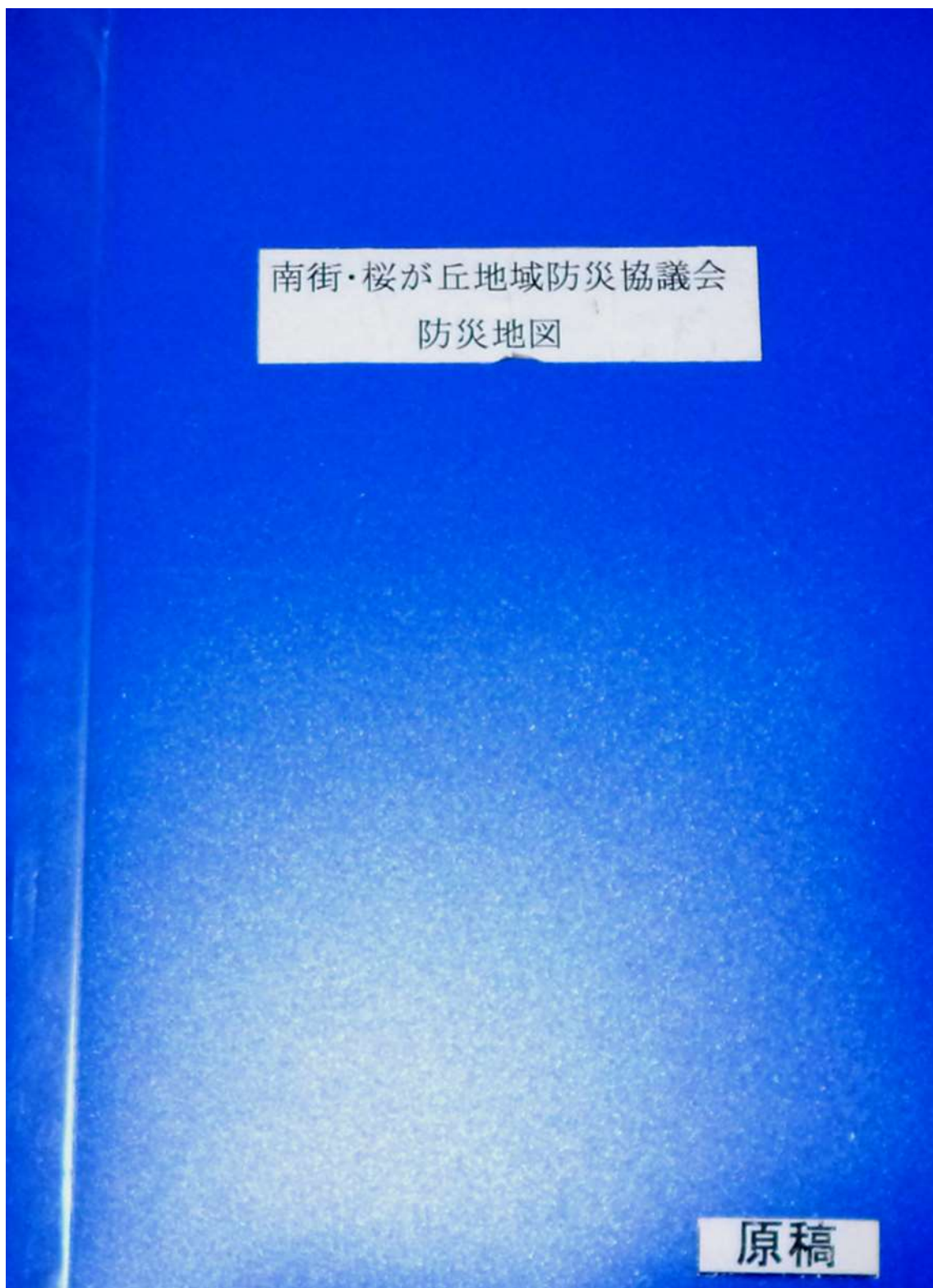
## 8. 公民館と防災協議会の主要発行資料

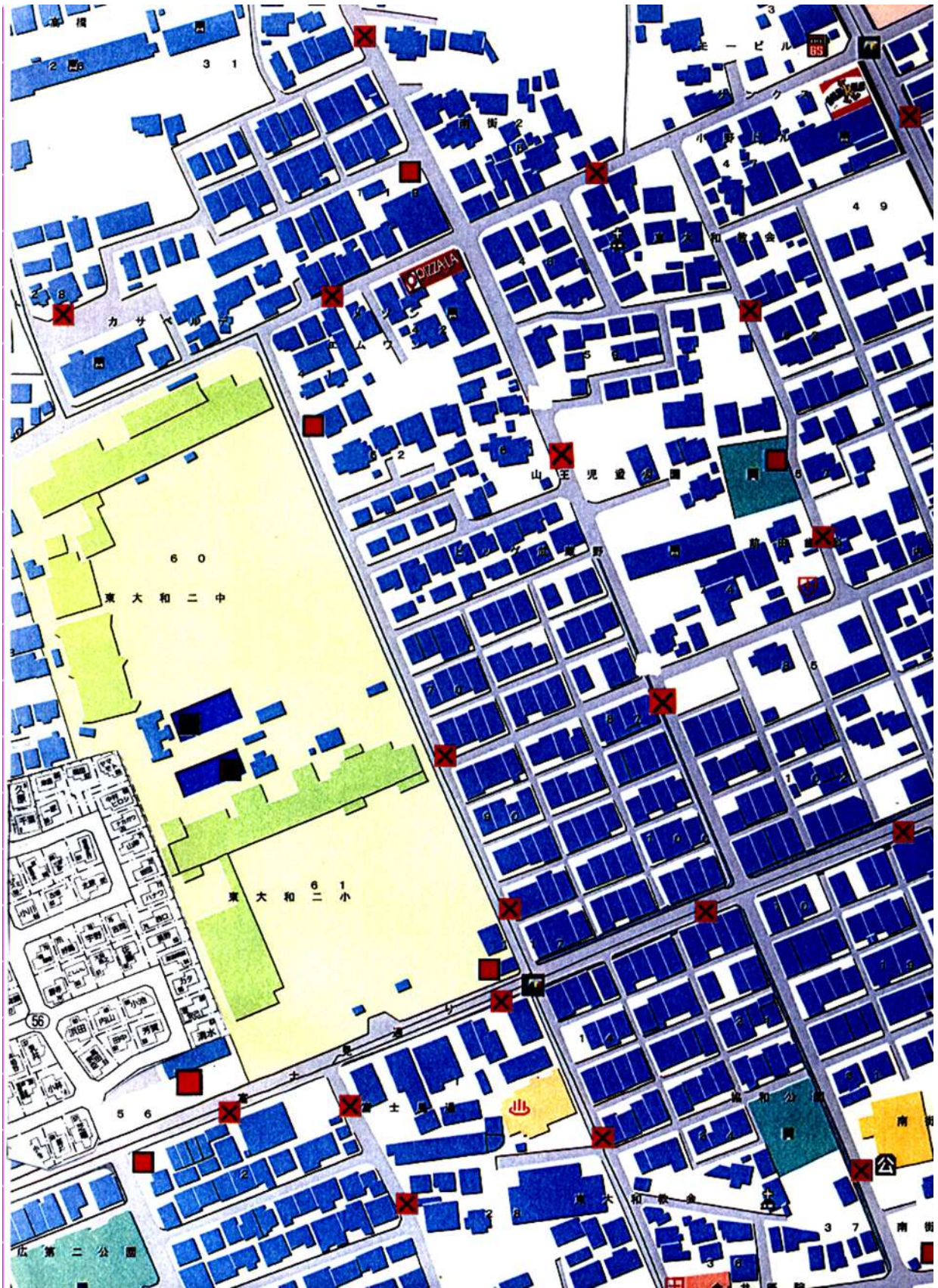
南街・桜が丘地域防災協議会は東大和市第二小学校全学区の南街地域の自治会と桜が丘地域のマンション管理組合（一部自治会組織もある）の全17団体が平成20年04月01日（2008年）に地域の防災活動を目的として公民館の協力を得て発足した団体で、防災協議会は防災活動のみでなく、実質的には連合自治会組織の面も持ち合わせており、公民館と共に地域の課題を見つけてその解決を図っておりますが、この活動の中で過去に下記4点の主要資料を発行しております。

次頁以降に過去6年間に発行した主要4点の資料を説明します。

- (1) 平成21年度(2009年度)；南街・桜が丘地域防災協議会防災地図  
本協議会の全地域の災害時避難場所、消火栓、防火用水、AED及び医院の位置を示した防災地図を作成しました。(ページ61及び62参照)
  - ページ61；「防災地図」の表紙
  - ページ62；「防災地図」の一例防災地図は「A3版」の大きさで関連資料を含め20ページに纏めました。「ページ62」にその一例を示します。
- (2) 平成22年度(2010年度)；南街・桜が丘地域地デジ電波電界強度の測定結果及びその考察  
2011年7月24日のアナログ放送からデジタル放送への切り替えに伴い、防災協議会の地域内で電波障害の発生が無い様、東京都西デジサポ受信者支援センターの協力を得て、2010年12月20日～22日に地域内の電界強度の測定を行い、又地域のケーブルテレビ局と調整を行い、デジタル放送による電波障害によるテレビの受信、視聴不可地域の発生を未然に防ぎました。
  - ページ63；「南街・桜が丘地域地デジ電波電界強度の測定結果及びその考察」の表紙
  - ページ64；「電界強度測定結果」の一例レポートは全110ページで本件の測定／検討結果、最終方針及び関連知識を纏めました。電界強度測定結果を「ページ64」にその一例を示します。
- (3) 平成23年度(2011年度)；南街・桜が丘地域の空間放射線量測定結果及びその考察  
2011年3月11日の東日本大震災発生に伴う、福島原子力発電所の事故による放射線の飛散は当該地域でもその影響を受けましたが、その放射線量の明確な数字は不明であった為、東京都の地域の底力再生事業の支援により放射線量計を購入して2011年7月～2012年3月の間、地域の公園及び道路側溝の放射線量を測定しました。
  - ページ65；「南街・桜が丘地域の空間放射線量測定結果及びその考察」の表紙
  - ページ66；「放射線量測定結果」の一例レポートは全163ページで本件の測定／検討結果及び関連知識を纏めております。測定の結果、当該地域は雨樋の下等で「マイクロスポット」が存在しますが、全体的には問題無い事が判明しました。尚本事業は本年度（平成24年度）も南街公民館の協力を得て継続しております。
- (4) 平成24年度(2012年度)南街・桜が丘地域防災協議会の平成24年度活動状況報告  
平成24年度に東京都の「地域の底力再生事業」の支援を受けて作成しました。その内容は公民館及び平成20年に発足した防災協議の平成24年度迄の全活動状況を一括に纏めた210ページのレポートです。
  - ページ67；「南街・桜が丘地域防災協議会の平成24年度活動状況報告」表紙
  - ページ68；「目次」の一例

(1) 平成21年度(2009年度)；南街・桜が丘地域防災協議会防災地図





(2) 平成22年度(2010年度)；南街・桜が丘地域地デジ電波電界強度の測定結果及びその考察

## 南街・桜が丘地域地デジ電波電界強度の 測定結果及びその考察

東大和市 南街・桜が丘地域防災協議会  
東大和市 南街公民館  
2011年(H23)01月20日



(3) 測定 Point 別詳細評価説明

(a) Point 1 ; 栄二丁目自治会地域 (南街自治会集会所)

東大和市 アンテナ受信実演デモのレポート 2010年12月20日午後

- ・ 東大和市南街5丁目付近
- ・ 東京方面に障害物はなし (東京タワーから約30km)
- ・ 周辺はほぼ東京タワーに向けてUHFアンテナ受信中

地図番号1

受信デモ条件

- ・ UHF20素子アンテナ
- ・ 地上高 10m
- ・ ブースター 有
- ・ 20インチ液晶テレビ

局名	NHK-G	NHK-E	NTV	TBS	CX	EX	TX	MX	HO
チャンネル	27	26	25	22	21	24	23	20	28
端子電圧(平均)	62.6	60.8	62.0	67.0	70.5	64.8	62.9	51.7	60.5
受信評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○

受信評価・写真参照

東京タワー全チャンネル  
良好に受信できる事を確認



テレビ受信画質の例



受信実演の様子

デモ実演説明状況



電波到来方向とアンテナ

● 基本データ測定結果

下表によるが詳細な数字は付表 No.1 を参照の事。

	NHK-G	NHK-E	NTV	TBS	FUJI	ASHI	東京	MX	放送大学
チャンネル	27	26	25	22	21	24	23	20	28
端子電圧	62.6	60.8	62.0	67.0	70.5	64.8	62.9	51.7	60.5
CN比	34.0	31.9	34.0	33.2	31.3	32.8	33.2	30.7	32.2
BER	00E+00	00E+00	00E+00	00E+00	00E+00	00E+00	00E+00	00E+00	00E+00
受信評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○

測定周辺環境； 住宅街中、自治会集会所前で測定、東京タワー方面の見通しは良く、受信感度は良い。

総合評価； 周辺住宅はほぼ全て東京タワー方向に UHF アンテナを設置している。

受信状態はかなり良好で、この地域周辺の測定結果のデータからは標準的なアンテナ設置で地デジの受信は可能と思われる。

尚アンテナを真逆に向けても受信出来た。

(3) 平成23年度(2011年度)；南街・桜が丘地域の空間放射線量測定結果及びその考察

## 南街・桜が丘地域の空間放射線量測定結果及びその考察



東大和市立南街公民館  
南街・桜が丘地域防災協議会  
平成24年03月31日

東京都の平成23年度「地域の底力再生事業助成」事業の助成金により作成

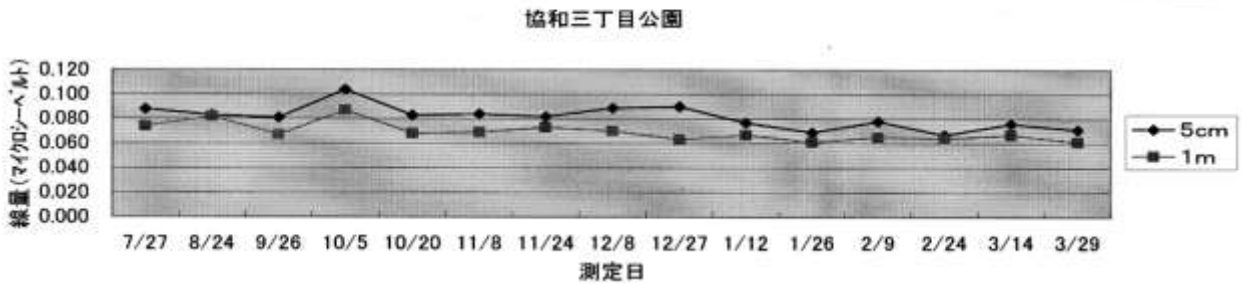
#### 4.1.2 測定結果

詳細なデータは付表 A1～A15 をご参照下さい。

##### 1 協和三丁目公園

表2

	7/27	8/24	9/26	10/5	10/20	11/8	11/24	12/8	12/27	1/12	1/26	2/9	2/24	3/14	3/29
5cm	0.088	0.083	0.081	0.104	0.083	0.084	0.082	0.089	0.090	0.077	0.069	0.078	0.067	0.076	0.071
1m	0.074	0.082	0.067	0.087	0.068	0.069	0.073	0.070	0.063	0.067	0.061	0.065	0.064	0.067	0.061



周囲環境；南側に3階建ての比較的大きなビルがありますが、その他の周囲は平屋の家屋。

詳細データ；「付表 A1～15」を参照。

測定評価 5 cm；平均的に  $0.085 \mu\text{Sv/h}$  程度の値が測定されております。

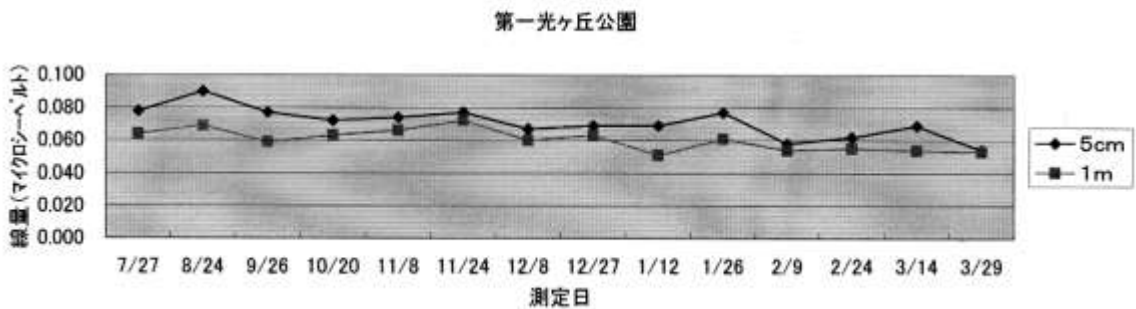
1 m；平均的に  $0.070 \mu\text{Sv/h}$  程度の値が計測されております。



##### 2 第一光ヶ丘公園

表3

	7/27	8/24	9/26	10/20	11/8	11/24	12/8	12/27	1/12	1/26	2/9	2/24	3/14	3/29
5cm	0.078	0.090	0.077	0.072	0.074	0.077	0.067	0.069	0.069	0.077	0.058	0.062	0.069	0.054
1m	0.064	0.069	0.059	0.063	0.066	0.072	0.060	0.063	0.051	0.061	0.054	0.055	0.054	0.053



周囲環境；比較的大きな立木があり、四方は平屋の木造家屋。

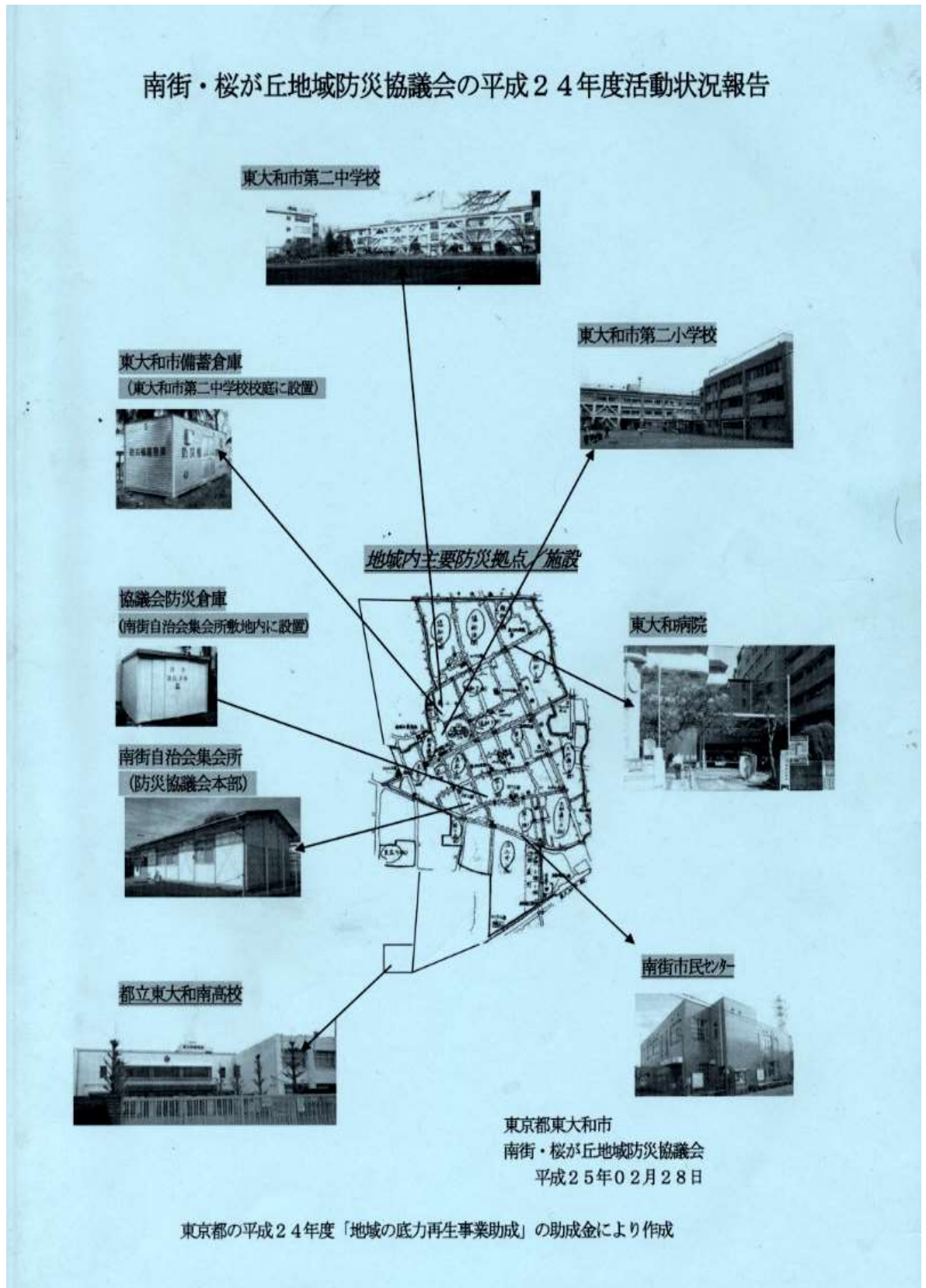
詳細データ；「付表 A1～15」を参照。

測定評価 5 cm；平均的に  $0.085 \mu\text{Sv/h}$  程度の値が測定されております。

1 m；平均的に  $0.070 \mu\text{Sv/h}$  程度の値が計測されております。



(4) 平成24年度(2012年度)南街・桜が丘地域防災協議会の平成24年度活動状況報告





# 第 I 部 総括

南街・桜が丘地域防災協議会  
平成25年02月28日

## 1. 序

平成24年4月に東京都の第一回「東京都防災隣組」認定を受けた当該防災協議会の更なる活動強化の為に、昨年度(平成23年度)の「地域の放射線量の測定事業」に引き続き本年度も東京都の平成24年度「地域の底力再生事業助成」の助成金を受け種々の活動を実施致した所、多くの会員の協力もあり、目標の成果を上げる事が出来ました。ここに平成24年度の当該防災協議会の活動状況を纏めましたので以下報告申し上げます。

## 2. 本報告書の構成目次

本報告書は「I部～VI部」で構成され、以下の目次により報告されております。

No.	目 次	ページ
第 I 部	総括	
1.	序	I-1
2.	本紙の構成目次	I-1～I-3
3.	結び	I-3
第 II 部	本防災協議会の活動状況	
1.	序	II-1
2.	各年度事業報告	II-2～II-12
(1)	平成20年度(2008年度)南街・桜が丘地域防災協議会事業報告	II-2、-3
(2)	平成21年度(2009年度)南街・桜が丘地域防災協議会事業報告	II-4
(3)	平成22年度(2010年度)南街・桜が丘地域防災協議会事業報告	II-5、-6
(4)	平成23年度(2011年度)南街・桜が丘地域防災協議会事業報告	II-7～II-9
(5)	平成24年度(2012年度)南街・桜が丘地域防災協議会事業報告	II-10～II-13
第 III 部	本防災協議会の主要発行資料	
1.	序	III-1
2.	主要発行資料	III-1～III-7
(1)	平成21年度；南街・桜が丘地域防災協議会防災地図	III-2、III-3
(2)	平成22年度；南街・桜が丘地域地デジ電波電界強度の測定結果及びその考察	III-4 III-5
(3)	平成23年度；南街・桜が丘地域の空間放射線量測定結果及びその考察	III-6、III-7

9. 内閣府白書関連

平成25年6月に内閣府白書「平成25年度の防災に関する計画」で防災協議会の活動が国会で報告されました。白書の内容は以下の通りです。

「南街・桜が丘地域防災協議会」は東京都東大和市の南部に位置し、南側に新しい高層マンション群が立ち並ぶ若い世代が多く居住する桜が丘地域のマンション管理組合と、道を隔てて北側には低層戸建て住宅が立ち並ぶ比較的高年齢者が多く居住する南街地域の自治会の性格が相違する二つの地域の21団体が地域内にある市立小学校、市立中学校、都立高校及び関連行政諸機関と連携して防災活動を含む地域の活性化に繋がる種々の活動をしております。

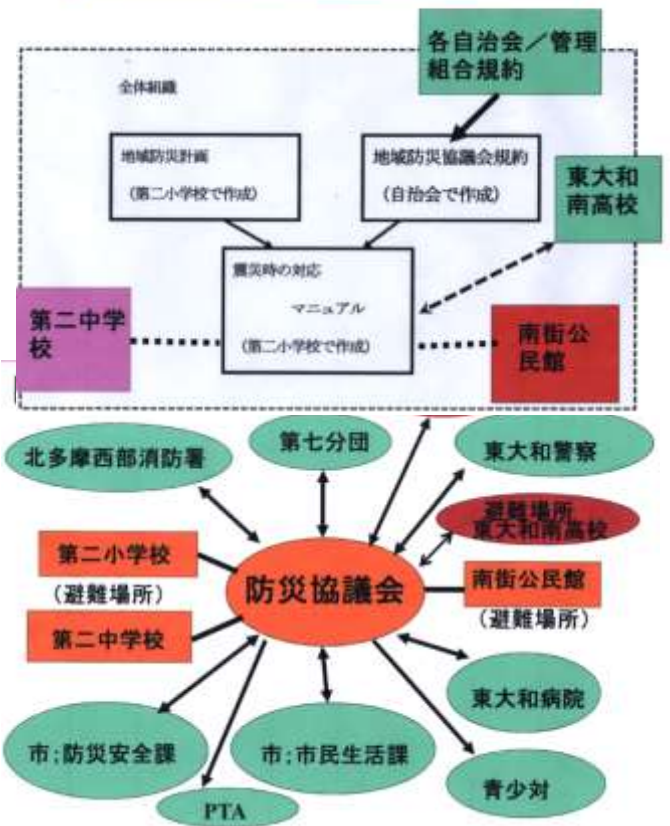
この地域は関東平野の中にあり山も川も海も無く、高低差も少ない天災地変（津波、川の氾濫、崖崩れ、液状化）の影響のない地域ですが、災害時低層戸建て住宅の多い南街地区では家屋の倒壊及び火災が問題になります。小学校及び中学校は住宅の密集する南街地域にあり、マンション地域の子供達は南街地区を通過して通学しております。

このような環境の中から双方の地域差を乗り越えて学校を中心として「どの様にして災害から子供を守る事が出来るか」に着目して地域内の自治会、マンション管理組合及び小学校／中学校（含むPTA）と平成19年度から予備調査を開始して平成20年に当該協議会を設立しました。以降主要防災活動として総合防災訓練、可搬ポンプ操作訓練、救急救護訓練及び地域病院とのトリアージ訓練を実施し、その他に地域活性の為に地デジ関連の問題の解決、地域放射線量の測定、食品の簡易放射線量測定を実施しており、これらの活動が評価され平成24年度に東京都防災隣組第一回の36団体に認定され、又都立東大和南高校と新たに防災協定を締結しました。

地域の状況（マンション群と低層戸建住宅地域）



南街・桜が丘地域防災協議会全体組織



総合防災訓練の集合状況



南街公民館及び南街・桜が丘地域防災協議会  
の平成25年度活動状況報告

平成26年03月31日発行

編集・発行  
東大和市立南街公民館  
南街・桜が丘地域防災協議会